

テクニカル分析講座

バーニャ マーケット フォーカスト

代表 水上 紀行

<http://www.banya-mktforecast.jp/>

話の流れ

- テクニカル分析の種類
- チャートのメリット
- チャートのデメリット
- 私のチャートの見方

テクニカル分析の種類①

- トレンド系

（現在向っている方向性を見る）

移動平均線、一目均衡表

ボリンジャーバンド、パラボリック

ポイント&フィギア、ペンタゴンチャート

エリオットウェーブ、酒田五法

- オシレーター系

（買われ過ぎ、売られ過ぎを見る）

RSI、ストキャスティクス、MACD、モメンタム、RCI

テクニカル分析の種類②

- 総合系 ヒストリカル、ボラティリティ
- 非時系列 新値三本、ジグザグ、カギ足、

各分析法のどれを選ぶか

- 各自のお好み次第
- ただし、3カ月ぐらいは継続して見て、使うどうかの結論を出す
- すぐにでは、その特性はわからない
- 個人的には、シンプルが、普遍性があって好き
→移動平均線、酒田五法

チャートのメリット

- 初心者として始めるのに、**わかりやすい**
- **客観的**。ある程度、チャート以外の雑音は、遮断出来る
- **分析法が多数**あり、自分の好みに合った分析法を選ぶことができる。

チャートのデメリット

- チャートカブレにはなってはならない
- チャートが通用しない相場もある
- 同じチャートは、皆も見ている

チャートカブレにならない

- チャートカブレ=チャート至上主義
- チャートが見ればすべてがわかるわけではない
- 場合によってはあたり、場合によってははずれる
- テクニカル以外の、いろいろな分析法と総合的に見ることが大切（テクノファンダメンタルズ等）

チャートが通用しない相場もある



同じチャートは、皆も見ている



同じチャートで同方向のポジション

- 想像以上の人達が、同じチャートを見て、同じチャートパターンに気がつき、同じ方向にポジションを持つことになる



- ポジションが、片側に大きく偏る



- 相場が逆側に揺り戻し、損切りが集中する

私のチャートの見方①

- チャートに同じ顔なし
- 定石を踏むパターンの可能性を検討
- 皆が同じチャートパターンに注目しているか
- チャートからマーケットポジションを読む

私のチャートの見方②

- 非常時のチャートパターンへの対応
- わからなくなったら、長いチャート

チャートに同じ顔なし

- あの時のあの格好に似ているという見方が多いが、同じ顔はないと思って、**新たな気持ちで見ることが大事**
- 基本的には、どういうポジションの偏りによって、出来ている形状なのかを検討する

定石を踏むパターンの可能性を検討

- いわゆる、**酒田五法**のパターンのひとつと捉えられるか判断している
- 酒田五法のパターンと判断がいたら、ポジションが積み上がる前に、早くポジションメイクを実行

皆が同じチャートパターンに注目か

- パターンの形状が、有名であればあるほど、
多くのマーケット参加者が注目している
- つまり、ポジションが偏る
- マーケットが、そのパターンを意識しているか
マーケットコメント等から察する

たとえば

- ダブルトップのネックラインまで下りて、完成かと思うと...
- 皆、ショートなので、下がらず、買戻し
- これで、センチメントがばらけると、本格的に下げ
- 実によくある

チャートからマーケットポジションを読む

- 値動き分析
- チャートパターンから、マーケットがロングかショートかがわかる
- 値動き分析から、マーケットポジションの読み方がわかってしまうと、意外と簡単に把握

非常時のチャートパターンへの対応

- ストキャスティックスなど売り過ぎになると、簡単に買いサインを出すか、非常時には、絶対乗らないほうが良い
- 非常時は、通常見ているチャート期間では、ワークしないので、長い期間のものを見ること
- たとえば、1時間足のスケールが週足に

わからなくなったら、長いチャート

- 非常時はもちろん
- それ以外にも、相場観がはっきりしなくなったら、長いもの（日足、週足、月足）を見る
- 日足、週足、月足と視野を広げていくと見えてくる（相場を遠望する）

チャートは楽し

- チャートを見ていると時間を忘れることも
- 365日、見ない日はない
- だからこそ、他の手法も見てみることで、さらにチャートへの理解に深みがでる

＜リスク開示＞

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合もあります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師(所属会社を含む。)は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

＜注意喚起＞

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果(想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み)や為替レートの変動等によって注文(ロスカット注文を含む)が約定しない場合等、元本を上回る損失発生可能性があります。特に、マイナー通貨(流動性の低い通貨)の取引をされる場合、元本以上の損失発生の高くなります。加えて、スワップポイント(通貨間の金利差調整額)においては通貨ペアやポジションの状態(売りまたは買い)によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社(相対取引)となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号:ヒロセ通商株式会社

業務内容:第一種金融商品取引業

登録番号:近畿財務局長(金商)第41号

加入協会:金融先物取引業協会会員番号1562